

【議案第 3 号】

令和 2 年度浜田市一般会計補正予算（第 10 号）

議案第 3 号 令和 2 年度一般会計補正予算（第 10 号）の賛成討論を行います。今回の補正予算は、新型コロナウイルス感染症対策とワクチン接種体制に係る事業費 3,240 万円の規模です。切れ目ない市民支援の救済事業実施に向けて、3 月定例会議を待つことなく、1 月臨時会議における上程を大変見事であると評価するものです。支援策第 5 弾では、新型コロナウイルスワクチン接種体制準備事業 1,627 万円は、国県全額負担事業。ひとり親世帯への特別支援給付金 113 万円、飲食店パーテーション設置支援事業 1,500 万円、神楽産業応援給付金 500 万円は、地方創生臨時交付金であり、商店街活性化支援補助金 1,500 万円は、ふるさと応援基金からと、一般財源は、年末あったか訪問事業 17 万円のみであり、浜田市の財政規模にみじんの揺らぎもなく見事です。このうち 3,240 万円の事業が、既存予算対応以外として、今回補正予算に計上されているわけですが、ただし、コロナ禍で最も収入が落ち込み、生きることが困難な市民を救済しえたと、この内容で言えるでしょうか。東京都や神奈川県など 11 都府県に発令された二度目の緊急事態宣言で、秋以降消費の拡大へと動き始めた浜田市の経済が、またまたピンチに陥っています。コロナによって、経済的な困窮に直面する人たちに、経済が「経世済民」という言葉の短縮形であるならば、文字通り浜田市は民をすくって世をおさめなければならないはずです。例えば、売り上げが低迷する零細企業やそこで働く人たち、サービス業、飲食業、宿泊業、雇用が安定していない非正規の市民、パートやアルバイトといった不安定な雇用形態の市民に対して、さらに業績悪化によって生活困難の状況に陥っている女性や若い人、子育て世帯に対して、思い切った支援が必要だと考えます。3 月定例会議において、市民救済のために浜田市は一段の財源の投入が必要であることを強く申し添えて、今回の補正予算の見事な内容について賛成討論とするものです。